

# 施工要領書

## 1. 下地処理

- ・ 油分、ヤニ、手垢、ゴミ、カビ等の汚れはキレイに除去して下さい。
- ・ シールや貼り紙は市販の貼り紙はがし剤やペイントうすめ液を染み込ませながら、金ヘラ等で丁寧にはがします残った粘着剤も貼り紙はがし剤やペイントうすめ液等でキレイに拭取って下さい。取れない場合は#240～#320 ペーパーで研磨除去して下さい。
- ・ ラッカースプレーの落書きは市販の落書きおとし剤やラッカーシンナー等で拭取って下さい。その際、下地の塗料が溶け出したり、リフティングしたりする場合がありますので注意が必要です。  
シンナー等でキレイにならない場合は、#240～#320 ペーパーで除去して下さい。

## 2. G-1プライマーの塗装

- ・ 塗料は主剤 6：硬化剤 1 で正確に調合します。
- ・ 塗装は毛先の良く揃った上級のニスバケ、上級のローラー（中毛または短毛）、スプレーで均一に塗装します。ハケの場合、G-1 プライマー専用シンナーで 0～10%、スプレー場合、10～30%希釈して塗装してください。
- ・ やむを得ず作業を中断する場合は、乾燥が早いので小出した容器の口をサランラップ等でこまめに密封するようにして下さい。また、ハケやローラーは G-1 プライマー専用シンナーを入れた容器の中に浸しておき、使用する際はシンナーをよく切ってから塗装すると便利です。塗料が付いた状態で放置しますと、ゲル化もしくはガラス状の乾燥物ができる可能性があります。G-1 プライマー専用シンナーの代わりにラッカーシンナーを使用する場合は、よく乾かして使用してください。
- ・ G-2300D の上塗りは下塗り後、夏季 2 時間、冬季 4 時間以上乾燥させてから行ってください。

## 3. G-2300D の塗装

- ・ 塗料は主剤 6：硬化剤 1 で正確に調合します。
- ・ G-2300D は夏季特に乾燥が早いので、主剤、硬化剤調合後の可使用時間（ポットライフ）が短くなります。1 日に使用する量の主剤と硬化剤を調合し、必ず一旦 1 L 角缶等に密栓保管して下さい。
- ・ 塗装直前に 30 分位で使い切る量を少しずつ小出ししながら塗装します。（1L 角缶はその都度密栓して下さい）
- ・ 塗装は毛先の良く揃った上級のニスバケ、上級のローラー（中毛または短毛）、スプレーで均一に塗装します。  
夏季は特に乾燥が早いので、何度もハケ返しをすると半乾きの塗膜を巻き込んでムラやダマができたり、重ね塗り状態になるとリフティングによるチジミが発生したりすることがあります。手早く一気に塗り上げるようにして下さい。  
ハケの場合、G-2300D 専用シンナーで 0～15%、スプレー場合、10～30%希釈して塗装してください。
- ・ やむを得ず作業を中断する場合は、小出した容器の口をサランラップ等でこまめに密封するようにして下さい。また、ハケやローラーは G-2300D 専用シンナーを入れた容器の中に浸しておき、使用する際はシンナーをよく切ってから塗装すると便利です。塗料が付いた状態で放置しますと、ゲル化もしくはガラス状の乾燥物ができる可能性があります。  
G-2300D 専用シンナーの代わりにラッカーシンナーを使用する場合は、よく乾かして使用してください。
- ・ G-2300D は乾燥すると重ね塗りは出来ません。塗装し直す場合、完全硬化（7 日）までであればラッカーシンナーや塗料ハクリ剤等で塗料をはがしてから同様に塗装して下さい。ラッカーシンナー等を使用する前に、下地に傷がつかないようカッターなどで塗膜に軽く傷を付けるとしみ込みやすくなります。それでも剥がせない場合は#240～#320 ペーパーで研磨除去してから同様に塗装して下さい。

## 4. 注意事項

- ・ 気温 5℃以下、湿度 85%以上、表面結露が見られる場合は塗装を避けて下さい。
- ・ 降雨、降雪、強風が予想される場合は塗装を避けて下さい。
- ・ 用具の手入れはそれぞれ希釈する専用シンナーまたはラッカーシンナーをご使用下さい。